

見ぬま田んぼ・野草スケッチ「コセンダングサ」小梅檀草

分類：キク科 属：センダングサ属

花言葉：近寄らないで、悪戯好きな子供、味わい深い、移り気な方



東浦和・武蔵野線脇で撮影 2011.9.3

秋の道端や野原に小さな黄色い花をつけた丈のある草が群れをなしています。秋の日差しを受けてそこにスジグロチョウやミツバチが飛び交っています。しばらく日数がたつと花が綿毛となり、そして小さな棒状で焦げ茶色した種になり、衣服についてきます。引付き虫の一つです。



## 「コセンダングサ」

世界：	北アメリカ原産で、世界の暖帯から熱帯にかけて広く分布
生育地：	明治時代に確認された帰化植物、関東地方以西の河原や荒地
茎 丈：	50-100センチ、茎は四角形状
葉	中間部の葉は長さ12~19cm
花期：	9-11月
花・花色：	黄色の頭花は筒状で総苞片は短い
種子：果実	瘦果は細長く7-15mm
特徴：	先端に棘があり衣服などに付きやすく、ひっつき虫と呼ばれる
由来	根には強力なアレロパシー作用
	小さい2枚の写真と解説はWikipedia よりお借りしました 20.1.2